

末吉美帆子
平成 25 年 6 月議会
一般質問



一般質問から

「日常生活の化学物質を減らそう！」

環境省は「女性のクールビズ」で香料つき制汗スプレー、柔軟剤などを推奨しましたが、環境団体の抗議を受けて即時削除しました。化学物質過敏症は生活に氾濫する香料や農薬等でも引き起こされます。「人が多く集まる場では思いやりを」など公共施設ポスターを掲示する自治体が増えています。公共施設の洗剤や殺虫剤使用も安全性を考え、市民の健康を守ってほしいと一般質問しました。

4月から所沢・狭山・入間・飯能・日高消防が合併し「埼玉西部消防組合」が生まれました。79万人の安心安全を守る消防・救急の充実とともに、各市の高性能消防車、起震車、地震体感装置、煙体験室、研修設備等を有効に活用し、広域合併のメリットをしっかりと市民に還元できるよう見守ります。組合定例議会は7/30の予定です。

生活から見えた課題を改善！

小手指陸橋下の緑野北公園は球技ができますがフェンスを超えたボールが近隣マンション敷地に入ることがありました。要望の結果フェンス上部を補強し、利用者・住民双方の安心が高まります。

「山口から西所沢駅踏切に向かう歩道が狭く危険」という声を頂き、ゴミ集積所に接触防止用の黄・黒の警告テープを施しました。また県に依頼しガードレールを改善し、歩道幅が広がりました。今後も引き続き改善に努めます。

西所沢、荒幡の2ヶ所から「T字路の路面表示がなく危険」と聞き、塗装・看板で補強しました。

「西新井交差点が車椅子介助に不便」という声を頂き現在調査、検討中です。

皆さまの生活の声が力です！どんなことでもご相談下さい(^_^) ネットは小さな声にも全力で取り組みます。



西所沢 歩道広がる

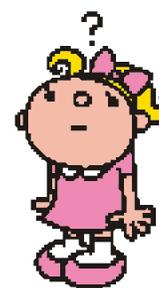


荒幡 T字路



小手指 緑野北公園

子宮頸がんワクチンの問題点



そもそも子宮頸がんワクチンとは？

皮膚や粘膜にあるヒトパピローマウイルス(HPV)が原因であるとして 2011 年から小6～高1女子に接種。4月から定期接種に。(自治体に接種義務があり費用は国負担。国民は努力義務で判断は自由)

全身の痛み、歩行障害などの自己免疫性疾患で苦しんでいます。

必ず検診を！

HPV2種類にしか効かないワクチンで、どちらにせよ子宮がん検診は必要です。「ワクチンと検診で 100%近く防げる」といいますが、危険性の高いワクチンより、今 20%程度の検診率の向上こそ急ぐべきです。

効果はわからない。

厚労省は9年間効果が「期待される」としており「効果がある」と言っていない。子宮頸がん死亡者は年間 2700 人ですが 25 才以下の死亡は殆どなく、16 才の接種は無意味です。所沢市の 2013 年の死亡者は 11 人で 40 才以下はゼロです。

国が調査開始。

積極的勧奨は一時見合わせに！

6/7 文科省は学校長期欠席者の被害調査を、6/14 厚労省は勧奨の一時見合わせを決定しました。今も全国被害者連絡会には電話が相次いでいます。徹底的な調査と被害者救済が早急に必要です。

相次ぐ後遺症報告、多数の失神報告

製薬会社から国への報告だけで 800 件以上。所沢市でも失神が報告されています。後遺症は死亡者1人を含み、

末吉美帆子のブログ・ツイッター・フェイスブック



末吉美帆子

検索

クリック

日々の課題や議会の報告を出来る限りブログやツイッターに書き込んでいます。また議会の録画中継は所沢市役所ホームページで見ることができます。ぜひご覧下さい。

新議長は村上浩議員。「議会改革をさらに推進」の言葉に期待します。副議長は赤川洋二議員と岡田静佳議員が18票同数でくじ引きになりました。

岡田副議長にはがんばって頂きたいと思います。私は広聴広報委員長に選任されました。議会広報の要、全力を尽くします。